

巣立ちの日に寄せて

市長 米本弥一郎



晴れ渡る空の下、第一中学校の卒業式に参列しました。会場に着くと、すでに多くの保護者がおいでで「おめでとうございます」とあいさつすると、うれしそうにはほ笑んで「ありがとうございます」と応えてくださいました。

開式前に立ち寄った校長室では、お世話になった多くの先生や歴代校長の写真を拝見しました。現校長は、私の恩師のご子息です。親子二代で校長を務めていただき、教育へのご尽力に心から敬意を申し上げます。吹奏楽部の演奏で卒業生が入場。校歌斉唱では、学区の歴史・地勢・人々の努力が歌い込まれ、子どもたちの成長への願いを感じることができました。

卒業証書授与・校長式辞では、卒業生が一人に近づいていることを知りました。また、コロナ禍でも生

徒と先生ができることに、精一杯取り組み続けたことを、改めて理解しました。このことは、PTA広報誌からも伺え、学校・保護者・地域が一体となって子どもたちを支えてくださったと感謝を申し上げます。コロナ禍で、できなかったことも多かったと思いますが、皆で協力した経験は将来に生きると確信します。

私からは、ここで出会った全てが一生の宝物になること、夢や目標に向かって一歩ずつ着実に歩んでほしいとお祝いを申し上げます。

式中、卒業生は一人を超えたらうるか、校歌は卒業生の心に残り続けるのだらうかなどと考えていました。子どもたちのより良い教育環境のため、皆さまのご理解をいただきながら小中学校再編に取り組んでいかなければならないと、決意を新たにしました。